

2015年6月入職

いのうえまみ
井上麻未

思いやり10項目の意義。そして次のステージへ

新しいことを学び続ける上で最適な環境

私が看護学校に通いはじめたのは、20代後半です。それまでは一般企業で事務員として働いていましたが、手に職を付けたいという思いを漠然と抱えていました。看護師を目指すきっかけとなったのは、家族が体調不良になったことでした。もともと人と関わることは好きでしたし、人の心と体をもっと理解したいという思いもありました。医療は日々進化しており、看護師になるからには継続的に知識を習得する必要があります。その点、善仁会グループは研修制度が充実しており、新しいことを学び続ける上で最適な環境だと考えました。

新しいことを学べる一方、善仁会グループには「思いやり10項目」という確固たる核があります。「思いやり10項目」とは、患者さまと接する上で大切な要素をまとめたもので、入職時に全てのスタッフが学びます。思いやりエキスパートの研修も、その10項目の内容がベースになっていて、その大切さを改めて知ることができました。入職から時間が経つと、内容をついつい忘れがちになります。お話するときに目線が合っていなかったり、無表情になってしまっていたり、お話を伺う際の掘り下げが足りなかったり。今回の研修ではこういった一つひとつの意義を再確認し、その理解をさらに深めたことで、次のステージにステップアップできた感覚があります。

人任せではなく、自分がチームをまとめる



私の課題は、発信力とリーダーシップを身につけることです。看護師だけでは対応できないイレギュラーなことが起こった際には、他職種のスタッフと連携を取りながらクリニック全体で同じ方向に歩んでいく必要があります。これまでの私は、意見を発しているのかどうか迷うことが多く、思っていることをなかなか口に出せませんでした。しかし、患者さまの安全を守る

ためには、緊急時にチームをまとめる人物が欠かせません。その役割を誰かに任せる

のではなく、自分で担いたいと思うようになりました。今後はチームワークとコミュニケーションをより意識し、日頃から意見を交わし合える風通しの良い環境を整備していくことが私の目標です。

思いやりエキスパートに選ばれたとき、「私には務まらない」と思いましたが、今はチャレンジして本当に良かったと感じています。課題をクリアし、新しいことを学び続けながら、患者さまからの「ありがとう」をもっともっと増やしていきたいです。



患者さまと真摯に向き合い
信頼される看護師を目指します

井上麻未